

業績ハイライト

三十三フィナンシャルグループ

三十三フィナンシャルグループ連結 (単位: 億円)

科目	2019年3月期
経営利益	77
親会社株主に帰属する当期純利益	522
自己資本比率	8.50%

2019年3月期の業績につきましては、経常利益は77億円となりました。経営統合による初年度の特種要因として「負ののれん発生益」463億円を特別利益に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は522億円となりました。

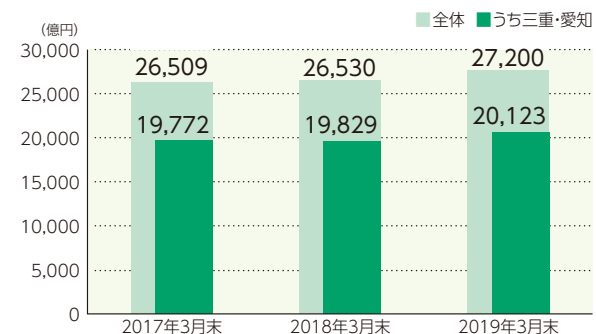
三重銀行・第三銀行 (2行単体合算) (単位: 億円)

科目	2019年3月期					
	2行単体合算		三重銀行(単体)		第三銀行(単体)	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
業務粗利益	489	6	230	4	258	2
うち資金利益	379	△6	168	4	210	△11
うち役務取引等利益	91	8	49	0	42	8
経費	376	△8	177	△2	198	△6
コア業務純益	108	10	53	6	54	3
業務純益	107	10	48	0	58	9
経常利益	101	△0	50	2	50	△3
当期純利益	79	0	36	1	42	△0

貸出金残高 (2行単体合算)

2兆7,200億円

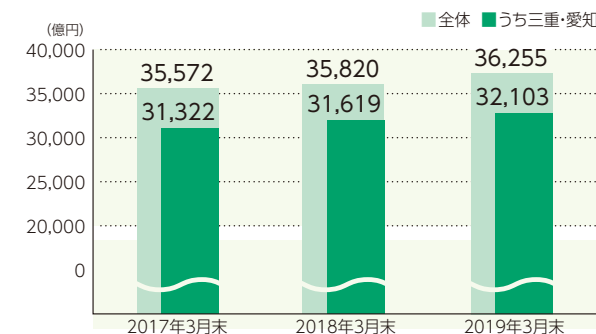
貸出金は、中小企業向け融資を中心に増加し、前期末比670億円増加しました。



預金・譲渡性預金残高 (2行単体合算)

3兆6,255億円

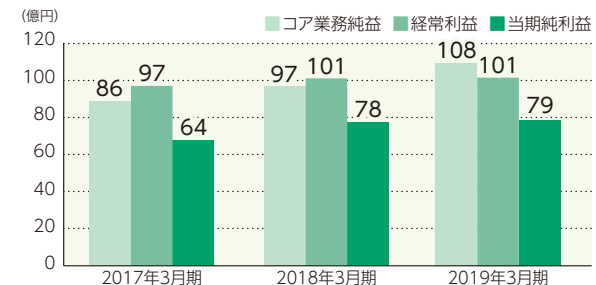
預金・譲渡性預金残高は、個人預金・法人預金ともに増加し、前期末比434億円増加しました。



利益 (2行単体合算)

コア業務純益 **108億円** 経常利益 **101億円** 当期純利益 **79億円**

コア業務純益は前期比10億円の増益となりました。経常利益、当期純利益はそれぞれ前期並みとなりました。



自己資本比率 (33FG連結・国内基準)

8.50% (連結)

自己資本比率は、連結で8.50%となりました。

格付け

日本格付研究所 (JCR)
長期発行体格付



債務履行の確実性は高い

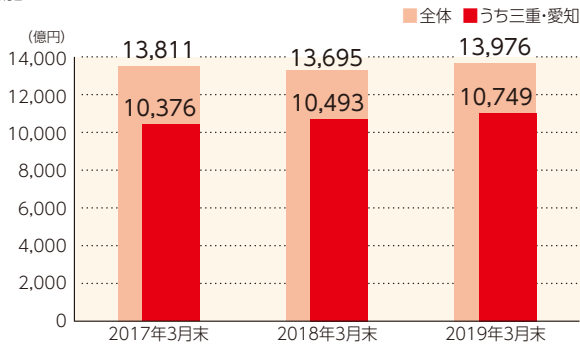
業績ハイライト

三重銀行

貸出金残高

1兆3,976億円

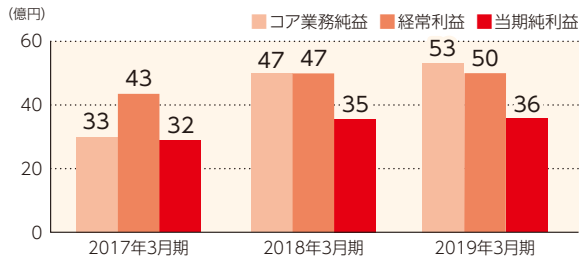
貸出金は、前期末比281億円増加しました。
地元三重・愛知では、中小業向け融資を中心に前期末比255億円増加しました。



利益

コア業務純益 **53億円** 経常利益 **50億円** 当期純利益 **36億円**

有価証券利息収入の増加、経費削減などから、コア業務純益、経常利益、当期純利益はそれぞれ前期比増益となりました。

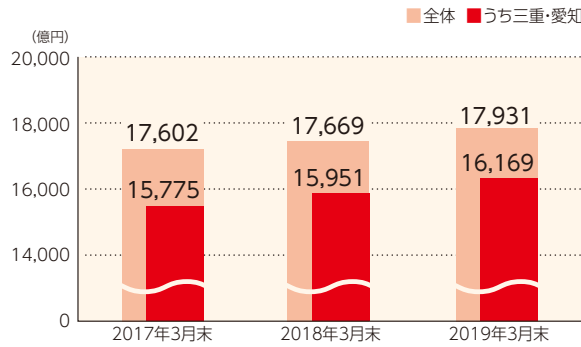


※2018年3月期より、一部計数の組替えを行っております。

預金・譲渡性預金残高

1兆7,931億円

預金・譲渡性預金は、個人預金、法人預金ともに増加し、前期末比261億円増加しました。



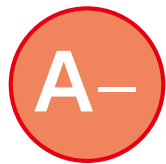
自己資本比率(国内基準)

7.64% (単体) 7.83% (連結)

自己資本比率は、単体で7.64%、連結で7.83%となりました。

格付け

日本格付研究所(JCR)
長期発行体格付



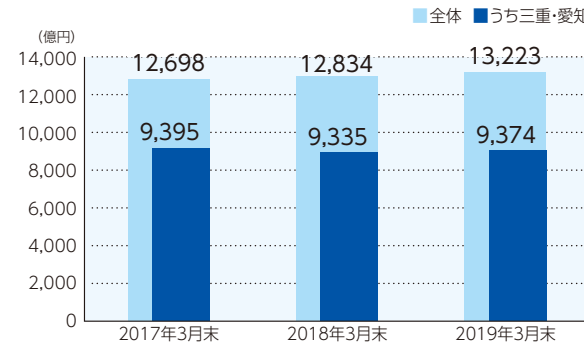
債務履行の確実性は高い

第三銀行

貸出金残高

1兆3,223億円

貸出金は、中小企業向け融資を中心に前期末比389億円増加しました。

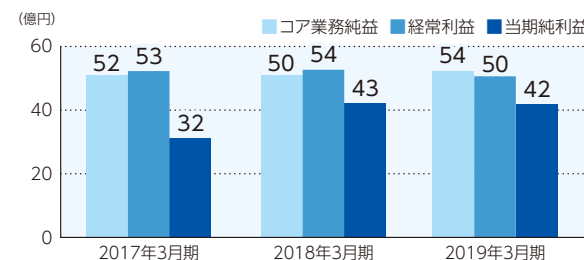


※計算は部分直接償却前です。

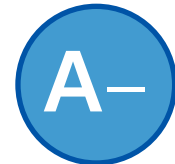
利益

コア業務純益 **54億円** 経常利益 **50億円** 当期純利益 **42億円**

コア業務純益は、役員取引等利益の増加などから前期比増益となりました。経常利益は、株式等関係損益の減少などにより前期比減益となりましたが、当期純利益は前期並みとなりました。



日本格付研究所(JCR)
長期発行体格付

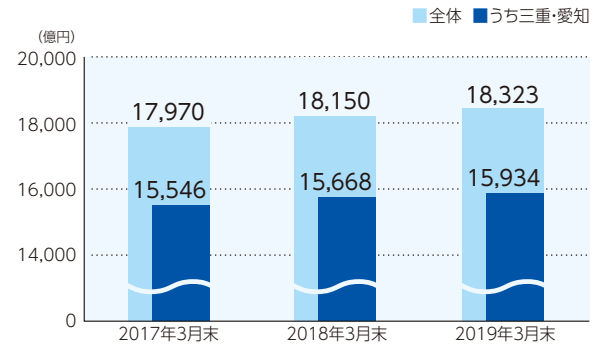


債務履行の確実性は高い

預金・譲渡性預金残高

1兆8,323億円

預金・譲渡性預金は、法人預金を中心に前期末比172億円増加しました。



自己資本比率(国内基準)

7.99% (単体) 8.03% (連結)

自己資本比率は、単体で7.99%、連結で8.03%となりました。

格付け